

【米田名誉主宰の俳句】

裸 木

米田規子

小寒や夕映えの街赤い屋根
目の検査終え裸木のシルエツト
煮豆ことこと冬の灯を近付けて
晩節のそここ寒く人を恋う
枯木星はちみつれもんに湯を注ぎ
猫のポーズからだ丸ごと冬日中
はげましと真冬のレモン友達く
砂糖壺のさとう減りゆき冬の家
よれよれの靴にさよなら冬木の芽
七十路の髪あわあわと光り春